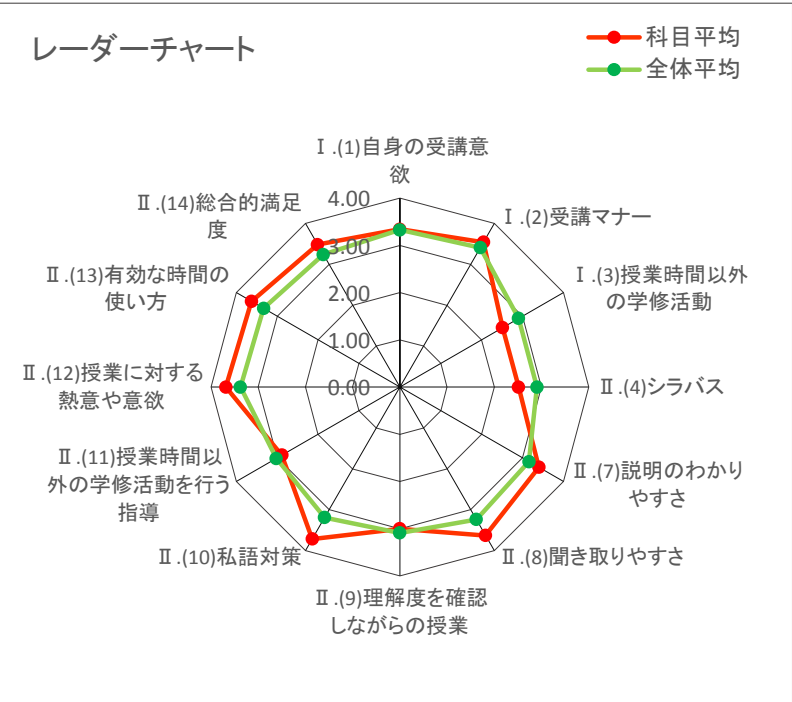
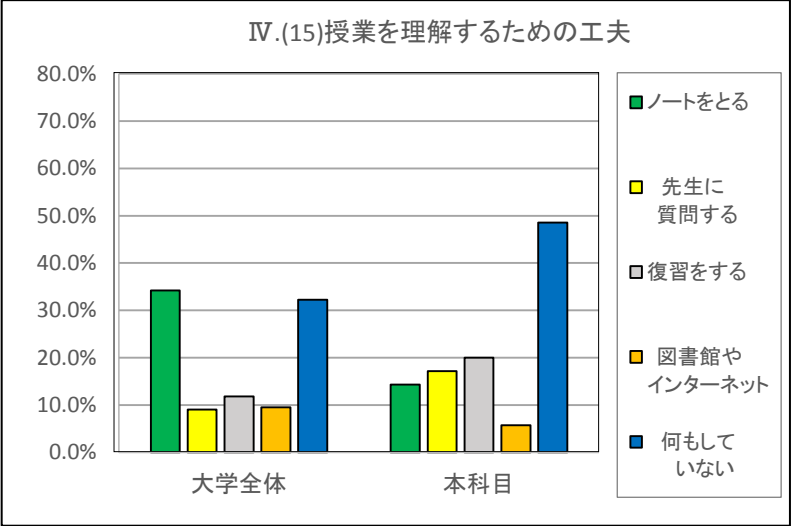


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)	授業を理解するための工夫	14.3%	17.1%	20.0%	5.7%	48.6%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.34	3.33
	I.(2)	3.54	3.41
	I.(3)	2.51	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.51	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.40	3.16
	II.(8)	3.63	3.24
	II.(9)	3.00	3.09
	II.(10)	3.71	3.19
	II.(11)	2.89	3.03
	II.(12)	3.69	3.38
	II.(13)	3.63	3.33
	II.(14)	3.49	3.24
満足度	II.(14)	3.49	3.24

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.13	3.21
I.(1)～(3)		
講義内容・方法	3.31	3.17
II.(4)～(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.49	3.24

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	44105
科目名	書写・書道入門
教員名	

①授業計画の達成度について

基礎・基本事項は達成できたと思っています。ただし、教員養成課程における相対的な基礎基本の力となると、明らかに不足しているのが実状です。今後、どのように計画を充実させていくかが課題と考えます。

②授業の進め方について

「ねむい」とのコメントは論外と感じます。前任校で授業改善に必死に取り組んでいた頃、学生のコメントに「先生は授業の在り方を一生懸命考えているが気にしないでいい。何をやっても聞く気がない連中がいる」とあり愕然としました。一部ですが思い当たる学生がいるのは事実です。出席を単位認定の口実に持ち出すなども論外です。出席するのは当然です。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

講義科目と演習科目の区別もない状態で授業評価がされるのに困惑しています。ただし、講義形式の学習には工夫が必要と考えています。「学ぶ気がない」と言い切ってしまうことの問題点を感じながら、学びというものの基礎・基本を習得させる場の設定が必要と感じています。授業ごとの個別対応には限界があります。